平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名　ソースネクスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4344　URL　http://www.sourcenext.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松田　憲幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役アドミニストレーショングループ担当常務執行役員　(氏名) 青山　文彦　TEL 03-6430-6406

四半期報告書提出予定日　平成24年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,403	△6.0	315	188.2	295	185.6	323	253.2
24年3月期第2四半期	2,556	56.3	109	―	103	―	91	△42.6

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　323百万円　(253.2%)　24年3月期第2四半期　91百万円　(△42.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.37	―
24年3月期第2四半期	5.77	―

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,084	1,075	34.9
24年3月期	3,064	751	24.5

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,075百万円　24年3月期　751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,011	△5.2	539	79.4	505	89.6	532	26.6	33.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、平成25年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が期首に行なわれたと仮定して算出)。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行なっており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	15,866,000 株	24年3月期	15,866,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,866,000 株	24年3月期2Q	15,866,000 株

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記発行済株式数(普通株式)につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定してそれぞれ算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
(その他特記事項)
平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、平成25年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。
・株式分割前の当社発行済株式総数 158,660株
・今回の分割により増加する株式数 15,707,340株
・株式分割後の当社発行済株式総数 15,866,000株

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、消費者マインドの復調による生活関連需要の増加などにより回復基調が見られたものの、海外経済の減速や円高の長期化など、依然として企業を取り巻く厳しい環境が継続しており、先行不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、当第２四半期連結累計期間におけるパソコンソフトウェア市場の店頭販売本数は、前年同四半期比88.2%（※）と厳しい状況で推移いたしました。一方、JEITAの発表によると、当第２四半期連結累計期間におけるパソコン出荷台数は、次世代プラットフォーム「Windows 8」が10月に発売されたことに伴う買い控えがあったものの、法人向けのリプレース需要が堅調に推移し、前年同四半期比100.8%と横ばいに推移しました。

こうした状況の中、製品面におきましては、当社グループは主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び世界最高レベルの技術を持つBitdefender,SRLの製品を更新料0円にした「スーパーセキュリティZERO®」の販売に加え、８月に「筆王®」並びに９月に「いきなりPDF」シリーズの新作を発売いたしました。また、当社製品を平成24年10月に発売された次世代プラットフォーム「Windows 8」に対応させるべく準備を進めて参りました。主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び「スーパーセキュリティZERO®」につきましては、「Windows 8」対応版の販売を６月より店頭及びソースネクストeSHOPにて開始しており、その他の製品につきましても順次対応が完了しております。さらに、急速に市場を伸ばしているスマートフォン向けアプリケーションの開発及び販売に注力し、当第２四半期連結累計期間におきましては、新たに「Android厳選アプリ」シリーズとして７タイトルの新製品を発売しております。

損益面におきましては、前連結会計年度に引き続き、利益構造及び財務体質の改善に取り組み、収益性及び安全性が大幅に改善しております。

このような施策を行なった結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は24億３百万円となり、経常利益は前年同四半期比2.9倍の２億95百万円、四半期純利益は、前年同四半期比3.5倍の３億23百万円となりました。

※ジーエフケーマーケティングサービスジャパン調べ全国有力家電量販店販売実績の集計結果に基づく
以下、店頭販売本数及び販売本数シェア、店頭販売金額も同様

①売上高

当社製品を平成24年10月に発売された次世代プラットフォーム「Windows 8」に対応させるべく開発を進めて参りました。主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び「スーパーセキュリティZERO®」につきましては、「Windows 8」対応版の販売を6月より店頭及びソースネクストeSHOPにて開始し、既存ユーザー向けには、ソースネクストeSHOPにて「Windows 8」対応版へのアップグレードキーの販売を開始しております。また、店舗ラウンディング体制の強化を図り、店頭での展開に注力して参りました。その結果、当第２四半期連結累計期間における「ウイルスセキュリティ」シリーズの店頭販売本数は、セキュリティソフト市場全体が前年同四半期比92.6%で推移したのに対し、当社は前年同四半期比100.3%で推移し、販売本数シェアは22.3%と前年同四半期の20.6%と比較し1.7ポイント増加しました。さらに、店頭販売金額は、「ウイルスセキュリティZERO®」と比較して高価格帯である「スーパーセキュリティZERO®」の販売が好調だったことにより、セキュリティソフト市場全体が前年同四半期比95.8%で推移したのに対し、当社は前年同四半期比114.4%で推移いたしました。

また、前連結会計年度に発売したスマートフォン向けアプリケーションの開発及び販売に注力して参りました。当第２四半期連結累計期間において、新たに「Android厳選アプリ」シリーズとして７タイトルの新製品を発売しております。さらに、KDDI株式会社が提供するAndroidスマートフォン向け月額サービス「auスマートパス」や店頭での展開強化を推し進めた結果、売上高が好調に推移いたしました。

上記の通り、付加価値の高いソフトウェア製品の販売及びサービスの提供を重点的に強化したことにより、利益率の向上及び利益額の増加を図って参りました。一方、ソースネクストeSHOPで販売する粗利率が相対的に低いパソコン関連機器を中心としたハードウェア等の仕入販売は前年同期比で減少いたしました。結果として、当第２四半期連結累計期間の売上高は前年同期比微減の24億３百万円（前年同四半期比6.0%減）となったものの、前年同期と比べ利益率は向上し、利益額は大幅に増加いたしました。

②売上総利益

店頭在庫の適正化及び生産プロセス・出荷プロセスの見直しにより、返品率が改善し、製品評価損及び製品廃棄損が大幅に減少いたしました。また、付加価値の高い「スーパーセキュリティZERO®」や「Android厳選アプリ」シリーズの売上が好調だったことにより、売上総利益率が66.2%となり、前年同四半期の53.8%と比べ12.4ポイント向上しております。その結果、当第２四半期連結累計期間における売上総利益は、15億91百万円（前年同四半期比15.7%増）となり、前年同四半期と比べ大幅に増加いたしました。

③営業利益

スマートフォン向けアプリケーションの開発を積極的に行なった結果、研究開発費が増加いたしました。また、店頭での展開強化のため販促物の刷新等を行なったことにより、販売促進費及び広告宣伝費が増加しております。一方で、「筆王」の商標権の償却期間が終了したことによる償却費の減少や、在庫の適正化を推し進めてきた結果、在庫数量が大幅に減少し保管料が減少するなど、固定費が減少しております。その結果、当第２四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は、12億76百万円となり、前年同四半期と比べ0.8%増加しましたが、売上総利益が前年同四半期と比べ大幅に増加したことにより、営業利益は、３億15百万円（前年同四半期比188.2%増）となりました。

④経常利益

営業利益の増加に加え、借入金の返済による支払利息の減少や、円高を背景とした為替差益等の影響により、当第２四半期連結累計期間における経常利益は、前年同四半期比2.9倍の２億95百万円（前年同四半期比185.6%増）となりました。また、経常利益率は12.3%と前年同四半期の4.0%と比べ8.2ポイント増加となり、大幅に向上しております。

⑤四半期純利益

前連結会計年度末より繰延税金資産を計上しております。当第２四半期連結累計期間においては、経常利益の増加に加え、法人税等調整額（貸方）60百万円を計上したことにより、当第２四半期連結累計期間における四半期純利益は、前年同四半期比3.5倍の３億23百万円（前年同四半期比253.2%増）となり、前年同四半期と比べ大幅に増加いたしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ19百万円増加し、30億84百万円となりました。流動資産は48百万円増加して21億75百万円、固定資産は29百万円減少して９億８百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加86百万円、商品及び製品の減少40百万円、前渡金の減少41百万円、繰延税金資産（流動）の増加48百万円によるものであります。固定資産の減少の主な要因は、償却による減少が取得を上回ったことによるものであります。なお、繰延税金資産（固定）が12百万円増加しております。

当第２四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ３億３百万円減少し、20億９百万円となりました。流動負債は、９億95百万円減少して13億11百万円、固定負債は６億91百万円増加して６億97百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、財務の健全性を確保し、より安定した財務構造を確立することを目的として、平成24年７月に既存の短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金10億47百万円を返済し、新たにシンジケートローンによる長期借入を行なったことや、その他借入金の返済などにより短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金が９億82百万円減少したことによるものであります。固定負債の増加の主な要因は、シンジケートローンによる長期借入金の増加６億95百万円によるものであります。なお、上記の結果、当座比率が前連結会計年度末より61.1ポイント増加し133.5%、流動比率が前連結会計年度末より73.7ポイント増加し165.8%となり、財務構造が大幅に改善しております。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ３億23百万円増加し、10億75百万円となりました。純資産の増加の要因は、四半期純利益３億23百万円によるものであります。なお、純資産の増加により自己資本比率は34.9%となり、前連結会計年度末24.5%と比べ10.3ポイント増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成24年10月24日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,328	960,592
受取手形及び売掛金	704,715	791,039
商品及び製品	108,616	67,798
原材料及び貯蔵品	18,368	19,556
前渡金	131,773	89,829
繰延税金資産	149,572	198,271
その他	46,556	48,291
流動資産合計	2,126,931	2,175,379
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	191,723	191,329
減価償却累計額	△141,458	△152,312
有形固定資産合計	50,265	39,016
無形固定資産		
ソフトウエア	614,860	622,016
その他	67,270	32,309
無形固定資産合計	682,130	654,326
投資その他の資産		
繰延税金資産	31,956	44,176
その他	173,526	171,354
投資その他の資産合計	205,482	215,530
固定資産合計	937,879	908,873
資産合計	3,064,810	3,084,253
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,469	201,745
短期借入金	384,790	177,019
1年内返済予定の長期借入金	1,127,082	352,128
未払金	250,798	268,437
未払法人税等	9,018	26,146
賞与引当金	3,015	6,049
返品調整引当金	79,141	80,494
アフターサービス引当金	62,586	57,136
在外子会社清算損失引当金	3,859	8,667
その他	182,637	133,988
流動負債合計	2,307,398	1,311,813
固定負債		
長期借入金	－	695,872
その他	5,421	1,411
固定負債合計	5,421	697,283
負債合計	2,312,819	2,009,097

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	△2,630,462	△2,307,298
株主資本合計	751,991	1,075,155
純資産合計	751,991	1,075,155
負債純資産合計	3,064,810	3,084,253

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	2,556,742	2,403,164
売上原価	1,194,953	809,970
売上総利益	1,361,789	1,593,193
返品調整引当金繰入額	95,528	80,494
返品調整引当金戻入額	110,153	79,141
差引売上総利益	1,376,414	1,591,840
販売費及び一般管理費	1,267,105	1,276,818
営業利益	109,308	315,022
営業外収益		
受取利息	44	95
為替差益	16,037	10,041
債務勘定整理益	－	5,488
その他	599	91
営業外収益合計	16,681	15,716
営業外費用		
支払利息	21,418	15,463
支払手数料	－	15,000
在外子会社清算損失引当金繰入額	－	4,807
その他	1,191	166
営業外費用合計	22,609	35,437
経常利益	103,380	295,300
特別損失		
前渡金評価損	10,662	13,126
特別損失合計	10,662	13,126
税金等調整前四半期純利益	92,718	282,173
法人税、住民税及び事業税	1,223	19,928
法人税等調整額	－	△60,919
法人税等合計	1,223	△40,991
少数株主損益調整前四半期純利益	91,494	323,164
四半期純利益	91,494	323,164

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	91,494	323,164
四半期包括利益	91,494	323,164
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,494	323,164

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）重要な後発事象

当社は、平成24年８月29日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月１日をもって当社定款の一部を変更し、株式分割、単元株制度の採用を実施致しました。

①　株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

平成19年11月27日に単元株制度（売買単位）を100株に統一することを目的として、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を受け、当社株式の売買単位を100株とするため、株式を分割するとともに単元株制度を採用することに致しました。

なお、本株式の分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はございません。

②　株式分割の概要

分割の方法

平成24年９月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を１株につき100株の割合をもって分割致しました。

分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	158,660株
今回の分割により増加する株式数	15,707,340株
株式分割後の発行済株式総数	15,866,000株
株式分割後の発行可能株式総数	45,140,000株

③　単元株制度の採用

単元株制度を採用し、単元株式数を100株と致しました。

④　株式分割及び単元株制度の効力発生日

平成24年10月１日

⑤　１株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が、前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定した場合の１株当たり情報は、次のとおりであります。

前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１株当たり四半期純利益金額　5.77円

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１株当たり四半期純利益金額 20.37円